



▲見晴台～芙蓉台～三島駅をつなぐ「見晴台線」

路線バス「見晴台線」 地域の積極的な取り組み が表彰されました

問合せ 地域安全課 (☎983-2701)

前よりも多い1日あたり12便が運行され、年間利用者が9万人にのぼるバス路線となっています。

●見晴台自治会が評価されたポイント

- ・自治会が路線バス運行事業者と運行契約を締結
- ・自治会内の中学生や高齢者に定期券購入を助成
- ・自治会住民の高齢者に乗車割引券を配布
- ・バス停の整備、維持管理、清掃活動の実施

このような取り組みは全国的にも先進的な事例として評価されています。



▲見晴台自治会とバス事業者による市長への受賞報告

●「見晴台自治会」が中部運輸局長表彰を受賞

国土交通省中部運輸局では、乗合バスなどの運行について、利用者目線によるアイデアや利用者を増加させるような取り組みを行っている住民団体を対象に、「公共交通の利用拡大等に寄与している団体」として中部運輸局長表彰を実施しています。平成26年度の受賞者として、三島市の「見晴台自治会」が選ばれました。

●「見晴台線」と見晴台自治会の関わり

平成21年に、路線バス「見晴台線」を運行する富士急シティバス(株)から、赤字路線であることを理由に大幅な減便の申し出がありました。危機感を持った見晴台自治会は、住民総意のもとで自治会が主体となって立ち上がり、事業者が申し出た減便分の運行契約を自治会自らが締結し、路線の維持につなげました。熱心な取り組みにより、以

がんばる！元気な！市民活動団体

多呂北沢双葉会 / 双葉会見守り隊

会長・高橋市郎 / 代表・田中武雄さん

子供たちの成長を見守る

下校時刻に合わせて、向山小学校の通学路で、子どもたちの下校を見守っています。平成13年から活動を始めて、主に老人クラブのメンバー12人程度で活動しています。

授業から解放された子どもたちにとって、友達と一緒に下校は会話に夢中になりがちで、後ろからやって来る車などに気付かないこともあります。道路幅の狭い場所や信号のない交差点では特に注意しながら声掛けを



▲交差点での見守り

するよう心掛けています。

基本的に学校がある日には出られる会員が声掛けをしていますが、子どもたちが大きい声であいさつをしてくれて他愛もない会話を交わしたり、ひとりひとりが日々成長していく様子を実感できることが、休まず活動を続けている大きな原動力になっていると思います。

老人クラブの活動や見守り活動に協力していただける人はぜひ、気軽に参加してみてください。

